

平成30年度 年間指導計画

A科:動物科学科 B科:植物科学科 C科:食品科学科 D科:人間科学科 E科:環境科学科

教科	保健体育	科目	保健	1	学年・学科	2学年・全学科
教科書	大修館「現代高等保健体育」		副教材	大修館「現代高等保健体育ノート」		

学習目標	<p>○生涯の各段階において健康についての課題があり、自らこれに適切に対応する必要があること及び我が国の保健・医療制度や機関を適切に活用することが重要であることについて理解します。</p> <p>○社会生活における健康の保持増進には、環境や食品、労働などが深くかかわっていることから、環境と健康、環境と食品の保健、労働と健康にかかわる活動や対策が重要であることについて理解します。</p> <p>○社会生活や生涯を通じて自らの日常生活の健康の保持増進についての興味・環視や課題解決への意欲を高め、生徒の思考力・判断力等の育成を目指します。</p>
学習方法	<p>○生涯にわたって健康を保持増進するには、生涯の各段階の健康課題に応じた自己の健康管理及び環境づくりがかかわっていることや保健・医療制度や地域の保健所、保健センター、医療機関などを適切に活用することが重要であること。また、医薬品は、有効性や安全性が審査されており、販売には制限があることや疾病からの回復や悪化の防止には、医薬品を正しく使用することが有効であること。我が国や世界では、健康課題に対応して様々な保健活動や対策などが行われていることなどを理解します。</p> <p>○人間の生活や産業活動は、自然環境を汚染し健康に影響を及ぼすこともあること。それらを防ぐには、汚染の防止及び改善の対策をとる必要があること。環境衛生活動は、学校や地域の環境を健康に適したものとすよう基準が設定され、それに基づき行われていること。また、食品衛生活動は、食品の安全性を確保するように基準が設定され、それに基づき行われていること。労働災害の防止には、作業形態や作業環境の変化に起因する傷害や職業病などを踏まえた適切な健康管理及び安全管理をする必要があることなどを理解します。</p>

学習評価	評価の観点	評価の観点の趣旨	学期	重み付け	割合	
					考查	考查以外
学習評価	a 関心・意欲・態度	社会生活や生涯を通じて健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。	前期中間	40%	0	40
			前期末	40%	30	10
			後期中間	40%	0	40
			後期末	40%	30	10
	b 思考・判断	社会生活や生涯を通じて健康を保持増進するための課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動により、総合的に考え、判断し、それらを表している。	前期中間	10%	0	10
			前期末	10%	10	0
			後期中間	10%	0	10
			後期末	10%	10	0
	c 知識・理解	社会生活や生涯を通じて健康を保持増進するための課題の解決に役立つ自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	前期中間	50%	0	50
			前期末	50%	40	10
			後期中間	50%	0	50
			後期末	50%	40	10

学期	単元名 (題材)	学習内容 (小単元)	評価の観点			単元の評価規準	評価方法
			a	b	c		
前期中間	○生涯を通じる健康 1 思春期と健康	・思春期の体と心の健康について学びます。			○	c: 思春期の性的成熟にともなう心理面、行動面の変化に対応して、自分の行動への責任感や異性を尊重する態度が必要であることを理解できる。	・行動観察 ・保健ノート
	2 性意識と性行動の選択	・性意識の変化と異性の尊重や、性に関する情報と性行動について学びます。		○		b: 性に関する情報等への適切な対処が必要であることを理解できる。	
	3 結婚生活と健康	・心身の発達と結婚生活、結婚生活と家族の健康について学びます。			○	c: 健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解できる。	
	4 妊娠・出産と健康	・受精、妊娠、出産について学び、妊娠、出産期の健康のために必要なことも学びます。	○			a: 受精、妊娠、出産とそれに伴う健康課題について理解し、自他の健康への責任感、良好な人間関係や家族や周りの人からの支援、及び母子への健康診査の利用などの保健・医療のサービスの活用について積極的に学ぼうとしている。	
	5 家族計画と人工妊娠中絶	・家族計画の意義と避妊法、人工妊娠中絶について学びます。			○	c: 家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響について理解できる。	
	6 加齢と健康	・加齢にともなう心身の変化や、中高年期を健やかに過ごすために必要なことを学びます。			○	c: 加齢に伴う心身の変化について心身の発達や健康状態など保健の立場から理解し、中高年期を健やかに過ごすために重要なことを理解できる。	

前期末	7 高齢者のための社会的取り組み	・高齢者の健康課題とその支援や、すべての人が健康で安全に暮らすための取り組みについて学びます。		○	c: 中高年期を健やかに過ごすためには、若い時から適正な体重や血圧などに関心を持ち、適切な健康習慣を保つこと、定期的な健康診断が重要であることを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・保健ノート ・単元テスト ・ロールプレイング演習 ・定期考査
	8 保健制度とその活用	・保健行政の役割と健康づくり、保健サービスの活用について学びます。	○		a: 行政及びその他の機関などから保健・医療サービスについて積極的に学ぼうとしている。	
	9 医療制度とその活用	・医療制度と医療保険のしくみや、医療機関と医療サービスの活用について学びます。		○	c: 生涯を通じて健康を保持増進するには、医療機関及び保健・医療サービスを適切に活用していくことが必要であることを理解できる。	
	10 医薬品と健康	・医薬品の種類と使い方、安全性対策について学びます。		○	c: 医薬品には、医療用医薬品と一般用医薬品があること、承認制度により有効性や安全性が審査されており、その販売規制を理解できる。	
	11 さまざまな保健活動や対策	・健康づくりのための活動を学び、民間機関と国際機関の保健活動についても学びます。		○	c: 我が国や世界では、健康の保持増進を図るために、健康課題に対応して各種の保健活動や対策が行われていることについて理解できる。	

後期中間	○社会生活と健康 12 大気汚染と健康	・大気汚染の原因と健康への影響や、地球規模の問題について学びます。		○	b: 産業活動に伴う大気汚染は人々の健康に影響を及ぼしたり被害をもたらすことを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・保健ノート
	13 水質汚濁・土壌汚染と健康	・水質汚濁、土壌汚染、大気汚染の影響とかかわりについて学びます。		○	c: 健康への影響や被害を防止するには、汚染物質の大量発生を抑制したり、発生した汚染物質を処理することが必要なことを理解できる。	
	14 健康被害の防止と環境対策	・環境汚染の防止とその対策について学びます。	○		a: 環境問題の現状、問題点、対策などを積極的に学ぼうとしている。	
	15 環境衛生活動のしくみと働き	・産業廃棄物の処理と健康についてや、上下水道の整備とし尿の処理について学びます。		○	c: 上下水道の整備、ごみやし尿などの廃棄物処理は、環境と健康を守るために行われていることを理解し、その現状、問題点、対策を総合的に把握し、その改善を、安全で良質な水の確保や廃棄物処理と関連付けて理解できる。	

後期末	16 食品衛生活動のしくみと働き	・食品の安全性と、行政や製造・加工者による衛生管理について学びます。		○	c: 食品の安全性の確保は、食品衛生法などに基き、製造、加工、保存、流通などの各段階で適切な管理が重要であることを理解できる。	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・保健ノート ・単元テスト ・実技テスト ・定期考査
	17 食品と環境の保健と私たち	・食品の安全と環境の保健について、私たちの役割を学びます。	○		a: 環境と食品の保健にかかわる健康被害の防止と健康の保持増進について積極的に学ぼうとしている。	
	18 働くことと健康	・働くことと健康のかかわりや、働き方と健康問題の変化について学びます。		○	c: 労働による傷害や職業病などの労働災害は、作業形態や作業環境の変化に伴い質や量が変化してきたことを理解できる。	
	19 労働災害と健康	・労働災害とその防止や、安全管理と健康管理のしくみについて学びます。		○	c: 労働災害を防止するには、作業形態や作業環境の改善を含む健康管理と安全管理が必要であることを理解できる。	
	20 健康的な職業生活	・職場と日常生活における取り組みについて学びます。		○	c: 働く人の日常生活においては、積極的に余暇を活用するなどして生活の質の向上を図ることなどが健康の保持増進を図っていくことが重要であることを理解できる。	